

予防的なPCR検査の実施を



宇津木治宣



町長

有効性等を注視しながら判断する

質問 新型コロナウイルス感染症の狭い定義での濃厚接触者や症状の出た人への検査だけでなく、感染が広がっている場所での面的・網羅的検査、医療機関や介護施設でのPCR検査の定期的検査を。

町長 本町では、感染者について濃厚接触者特定し、PCR検査を行い、現在のところ感染拡大はない。面的・網羅的、または定期的なPCR検査については、検査体制の整備や費用対効果等を十分検討し、感染症対策として有効性を注視しながら、状況に応じて判断する。



ワクチン接種は任意です

質問 緊急事態宣言が発令され、近隣市には時短要請協力金が支給されている。一方、町の飲食店は開店休業状態だ。不公平感が強い。何らかの支援策をとるべきでは。

町長 町として、県へ要望書を提出し、町内飲食事業者に対しても周辺市と同様の感染症対策を求めたが、認められなかった。今後は、町内飲食店を対象とした「町内飲食店新型コロナウイルス感染症対策支援事業」を予定し、感染症防止対策や地域経済活性化に資する事業への補助金交付制度を活用し、町内飲食店への支援に取り組む。

質問 新型コロナウイルスワクチン接種の対応は。

町長 接種は、75歳以上の高齢者に続き、65歳以上の方、基礎疾患がある方等の順で、個別接種により対応する予定である。かかりつけ医が町

外の場合などは、町外の医療機関でも接種が可能となっている。**住民要望に対するきめ細かな予算確保を**

質問 住民要望は道路補修、通路の安全など様々であり、迅速な対応が求められる。要望は区長を通して行うが、予算がないと進展しない。そこで、住民要望に対するきめ細かな予算確保を求める。

町長 現状、優先順位を決め対応しているが、できる限り住民要望にお応えできるよう財源の許す限り、予算確保に努める。

こんな質問もしています
・ 施政方針について

少子化による財政逼迫への対策は



柳沢浩一



町長

人口減少対策・町の発展に取り組む

質問 少子化が急速に進む中、本町の将来的な幼稚園・保育所ニーズと今後の施設数はどう考えるか。

町長 未就学児童数はこの10年で21・2%減となり、幼稚園の利用児童数も約半分程度に減少している。一方、保育所利用者については、0歳〜2歳児の利用増により年々増加している。今後のニーズとして、幼稚園はさらに減少し、保育所についても緩やかな減少が続くと考えられる。施設数の見直しは、今後の幼稚園・保育所ニーズを注視しながら、必要な対策を講じていきたい。

教育長 定員や運営形態の見直し等は今後の検討課題として認識している。本町では幼稚園での生活で、豊かな心情や社会性の基礎を育成できるように充実した教育活動を行っている。一層魅力ある幼稚園づ

くりを積極的に推進するとともに、今後の方向性について検討していきたい。

質問 急速な年少人口の減少は、将来的に生産年齢人口の減少につながり、その結果として税収が減少し、町の財政運営は厳しさを増すことが予想される。これを克服するための施策は何か。

町長 克服の手立ては人口をいかに伸ばすかであり、人口減少対策と町の発展に向けた取組を進めている。人口減少対策では子供を産み育てやすい環境整備を進めており、新年度町独自の事業として、保育所、幼稚園等の第2子の保育料及び副食費を無償化し、子供をもっと持ちたいと望むカッ

プルの希望を叶えるとともに、若い共働き世代の転入や定住を、広く促進していきたいと考えている。子育て世代から「住みたいま



こんな質問もしています

・ 小学校の少人数学級化について
・ 児童生徒1人1台のタブレット端末の活用について